



第6期広域計画の枠組み及び骨子（案）について

令和7年7月5日

本部事務局計画課

1 踏まえるべき視点

関西広域連合設立の趣旨、これまでの取組の成果・課題に加え、広域計画等推進委員会や関西経済界、地域住民等からの意見を踏まえ、各分野において、以下の「将来像実現のための5つの力」及び「主要なテーマ」などの視点から取り組む施策事業を検討する。

＜将来像実現のための5つの力＞

○防災力 ○産業力 ○文化力 ○環境保全力 ○広域自治力

＜主要なテーマ＞

- 人口減少社会を前提とした取組
- DXの推進等、デジタル社会を前提とした取組
- 新しい分散・分権型社会の実現、東京一極集中の是正に向けた取組
- 「2025年大阪・関西万博」のレガシーを継承するための取組
- SDGs2030年目標達成に向けた取組
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組
- 潜在化する社会課題（貧困、教育や医療の格差、雇用問題等）への対応に係る取組
- 若者・女性をはじめ、誰もが自分らしく活躍できる社会（多様性・公平性・包摂性）の実現に向けた取組
- 「世界の中で輝く関西」に向けた取組
- 「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の開催支援とその効果を関西全体に波及させるための取組

2 現行計画からの主な変更点

上記の視点を踏まえ、第6期広域計画の枠組み（案）（別添1）及び骨子（案）（別添2）を作成。現行計画との対比は別添3のとおり。

今後、これらの視点、意見を更に反映して計画を策定していく。

○「第1 はじめに」

計画期間について、これまでは3年間としていたが、中長期的課題に対応するため5年間に変更 …骨子（案）1ページ

○「第3 目指すべき関西の将来像」

・章題「広域連合が目指すべき関西の将来像」から「広域連合が」を削除

…骨子（案）2ページ

- ・「基本的な考え方」の3つの柱を「将来像」として再編 …骨子（案） 2ページ

【第5期広域計画】

基本的な考え方

- (1) 国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西
- (2) デジタル化を推進し、個性や強み、歴史や文化を活かして、地域全体が発展する関西
- (3) アジア・世界とつながる、新たな価値創造拠点・関西



【第6期広域計画】

将来像

- (1) 国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西
- (2) 誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西
- (3) 個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西

- ・新たに「将来像実現のための5つの力」を追加 …骨子（案） 3ページ
- ・6つの「将来像」を「分野別ビジョン」として再編 …骨子（案） 3ページ
- ・「将来像実現に向けた広域連合の役割」を「将来像実現のための5つの力」に統合

○ 「第4 第6期広域計画の取組方針」

「政策の企画調整に関する事務」について

- ・「「2025年大阪・関西万博」への対応」を削除
 - ・「特区事業の展開」を「特区の推進」に名称変更
 - ・「広域連携による行財政改革の推進」を追加
- …骨子（案） 3～4ページ

3 今後のスケジュール

- | | | |
|---------|--------------|--------------|
| ・～9月 | 広域連合委員会 | : 中間案の協議 |
| ・10月 | 広域連合委員会 | : 中間案の確定 |
| ・10～11月 | パブリックコメントの実施 | |
| 令和8年 | | |
| ・1月 | 広域連合委員会 | : 広域計画（案）の確定 |
| ・2月 | 広域連合議会 | : 広域計画（案）の提出 |

[資料]

- 別添1 枠組み（案）
- 別添2 骨子（案）
- 別添3 現行計画との対照表
- 別添4 令和7年度第1回広域計画等推進委員会の開催結果について

将来像

将来像実現のための
5つの力

分野別ビジョン

取組方針

①
国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西

②
誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西

③
個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西

防 災 力

産 業 力

文 化 力

環 保 全 力

広 自 治 力

危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西（①、②）

医療における安全・安心ネットワークが確立された関西（②）

文化と観光で織りなす創造の関西、生涯スポーツの先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域関西（②、③）

世界の中で輝き日本の未来を牽引する関西、産業を支える多様な人材が活躍する関西（②、③）

地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西（②、③）

人・モノ・情報が集積し、新たな価値を創造・発信する世界のネットワーク拠点関西（①、②、③）

広域防災

広域観光・文化・スポーツ振興

広域産業振興（産業・農林水産）

広域医療

広域環境保全

資格試験・免許等

広域職員研修

政策の企画調整

分権型社会の実現

広域事務

【参考】第5期広域計画の枠組み

基本的な考え方

将来像

取組方針

①
国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西

②
デジタル化を推進し、個性や強み、歴史や文化を活かして、地域全体が発展する関西

③
アジア・世界とつながる、新たな価値創造拠点・関西

危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西（①）

医療における安全・安心ネットワークが確立された関西（①、②）

新しい時代の文化・観光首都“関西”、生涯スポーツの先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域“関西”（②、③）

世界に開かれた経済拠点関西（③）

地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西（③）

人・モノ・情報が集積し、融合・発信をする世界のネットワーク拠点関西（①、②、③）

3

広域防災

広域観光・文化・スポーツ振興

広域産業振興（産業・農林水産）

広域医療

広域環境保全

資格試験・免許等

広域職員研修

政策の企画調整

分権型社会の実現

広域事務

第 6 期広域計画の骨子（案）

令和 7 年 7 月 5 日

【第 6 期広域計画策定に際し、踏まえるべきポイント】

各分野において、広域連合の設立の趣旨並びに以下の「将来像実現のための 5 つの力」及び「主要なテーマ」を踏まえて、第 6 期広域計画を検討する。

＜将来像実現のための 5 つの力＞

○防災力 ○産業力 ○文化力 ○環境保全力 ○広域自治力

＜主要なテーマ＞

- 人口減少社会を前提とした取組
- DX の推進等、デジタル社会を前提とした取組
- 新しい分散・分権型社会の実現、東京一極集中の是正に向けた取組
- 「2025 年大阪・関西万博」のレガシーを継承するための取組
- SDGs2030 年目標達成に向けた取組
- 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた取組
- 潜在化する社会課題（貧困、教育や医療の格差、雇用問題等）への対応に係る取組
- 若者・女性をはじめ、誰もが自分らしく活躍できる社会（多様性・公平性・包摂性）の実現に向けた取組
- 「世界の中で輝く関西」に向けた取組
- 「ワールドマスタースゲームズ 2027 関西」の開催支援とその効果を関西全体に波及させるための取組

【第 6 期広域計画の構成】**第 1 はじめに**

- 1 設立からの経緯及び第 6 期広域計画の策定の趣旨
 - （1）設立からの経緯
 - （2）第 6 期広域計画策定の趣旨
- 2 広域計画の期間及び対象区域
 - （1）期間
 - （2）対象区域

第2 前期広域計画の取組の総括

- 1 広域事務
 - ① 広域防災
 - ② 広域観光・文化・スポーツ振興
(観光振興)
(文化振興)
(スポーツ振興)
 - ③ 広域産業振興
(産業振興)
(農林水産振興)
 - ④ 広域医療
 - ⑤ 広域環境保全
 - ⑥ 資格試験・免許等
 - ⑦ 広域職員研修
- 2 政策の企画調整に関する事務
 - ① 「2025年大阪・関西万博」への対応
 - ② 「ワールドマスタースゲームズ2027関西JAPAN」の開催支援
 - ③ 広域インフラのあり方
 - ④ プラスチック対策の推進
 - ⑤ エネルギー政策の推進
 - ⑥ 特区事業の展開
 - ⑦ イノベーションの推進
 - ⑧ 琵琶湖・淀川流域対策
 - ⑨ 女性活躍の推進
 - ⑩ SDGsの普及推進
 - ⑪ デジタル化の推進
 - ⑫ 様式・基準の統一の推進
- 3 分権型社会の実現に向けた取組
 - (1) 国土の双眼構造の実現
 - (2) 地方分権改革の推進

第3 目指すべき関西の将来像

- 1 将来像
 - (1) 国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西
 - (2) 誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西
 - (3) 個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西

2 将来像実現のための5つの力

- ① 防災力
- ② 産業力
- ③ 文化力
- ④ 環境保全力
- ⑤ 広域自治力

3 分野別ビジョン

- (1) 危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西
- (2) 医療における安全・安心ネットワークが確立された関西
- (3) 文化と観光で織りなす創造の関西、生涯スポーツ先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域関西
- (4) 世界の中で輝き日本の未来を牽引する関西、産業を支える多様な人材が活躍する関西
- (5) 地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西
- (6) 人・モノ・情報が集積し、新たな価値を創造・発信する世界のネットワーク拠点関西

第4 第6期広域計画の取組方針

1 広域事務

- (1) 基本的な考え方
- (2) 各分野の取組
 - ① 広域防災
 - ② 広域観光・文化・スポーツ振興
 - (観光振興)
 - (文化振興)
 - (スポーツ振興)
 - ③ 広域産業振興
 - (産業振興)
 - (農林水産振興)
 - ④ 広域医療
 - ⑤ 広域環境保全
 - ⑥ 資格試験・免許等
 - ⑦ 広域職員研修

2 政策の企画調整に関する事務

- (1) 基本的な考え方
- (2) 継続的・計画的に対応する政策の企画調整に関する事務
 - ① 「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の開催支援
 - ② 広域インフラのあり方

- ③ プラスチック対策の推進
 - ④ エネルギー政策の推進
 - ⑤ 特区の推進
 - ⑥ イノベーションの推進
 - ⑦ 琵琶湖・淀川流域対策
 - ⑧ 女性活躍の推進
 - ⑨ SDGsの普及推進
 - ⑩ デジタル化の推進
 - ⑪ 様式・基準の統一の推進
 - ⑫ 広域連携による行財政改革の推進
 - (3) 新たな広域課題への対応
- 3 分権型社会の実現に向けた取組
- (1) 基本的な考え方
 - (2) 国土の双眼構造の実現
 - ① 首都機能バックアップ構造の構築
 - ② 政府機関等の移転等
 - ③ 「防災庁」の地方拠点設置に係る提案等
 - (3) 地方分権改革の推進
 - ① 国の事務・権限の移譲
 - ② 関西の特徴を活かした地方分権改革のあり方等の検討

第5 広域計画の推進

- 1 様々な主体との連携
 - (1) 産学官連携
 - (2) 市町村との連携
 - (3) 連携団体との連携
 - (4) 国との連携
- 2 住民等との協働
 - (1) 住民等への情報発信
 - (2) 住民意見の反映
- 3 広域計画の円滑な推進
 - (1) 「関西創生戦略」の推進
 - (2) 行政評価
 - (3) 広報・広聴活動の充実
 - (4) 分野別計画の推進
 - (5) 業務改善の推進

第6期広域計画(骨子案)と現行計画との対照表

第5期広域計画	第6期広域計画(骨子案)	備考
第1 はじめに	第1 はじめに	
1 設立からの経緯及び第5期広域計画の策定の趣旨	1 設立からの経緯及び第6期広域計画の策定の趣旨	
(1) 設立からの経緯	(1) 設立からの経緯	
(2) 第5期広域計画の策定の趣旨	(2) 第6期広域計画の策定の趣旨	
2 広域計画の期間及び対象区域	2 広域計画の期間及び対象区域	
(1) 期間	(1) 期間	第5期:3年間⇒第6期:5年間
(2) 対象区域	(2) 対象区域	
第2 前期広域計画の取組の総括	第2 前期広域計画の取組の総括	
1 広域事務	1 広域事務	
2 政策の企画調整	2 政策の企画調整に関する事務	
3 分権型社会の実現に向けた取組	3 分権型社会の実現に向けた取組	
(1) 「国土の双眼構造の実現」に向けた取組	(1) 国土の双眼構造の実現	
(2) 地方分権改革の推進	(2) 地方分権改革の推進	
第3 広域連合が目指すべき関西の将来像	第3 目指すべき関西の将来像	「広域連合が」を削除
1 基本的な考え方	1 将来像	再編
(1) 国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西	(1) 国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西	
(2) デジタル化を推進し、個性や強み、歴史や文化を活かして、地域全体が発展する関西	(2) 誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西	
(3) アジア・世界とつながる、新たな価値創造拠点・関西	(3) 個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西	
	2 将来像実現のための5つの力	新規
	① 防災力	
	② 産業力	
	③ 文化力	
	④ 環境保全力	
	⑤ 広域自治力	
2 将来像	3 分野別ビジョン	再編
1 危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西	1 危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西	
2 医療における安全・安心ネットワークが確立された関西	2 医療における安全・安心ネットワークが確立された関西	
3 新しい時代の文化・観光首都“関西”、生涯スポーツの先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域“関西”	3 文化と観光で織りなす創造の関西、生涯スポーツの先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域関西	
4 世界に開かれた経済拠点関西	4 世界の中で輝き日本の未来を牽引する関西、産業を支える多様な人材が活躍する関西	
5 地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西	5 地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西	
6 人・モノ・情報が集積し、融合・発信をする世界のネットワーク拠点関西	6 人・モノ・情報が集積し、新たな価値を創造・発信する世界のネットワーク拠点関西	
3 将来像実現に向けた広域連合の役割	3 将来像実現に向けた広域連合の役割	「2 将来像実現のための5つの力」に統合

第4 第5期広域計画(R5～7)の取組方針	
1 基本方針	
2 広域事務	
(1) 基本的な考え方	
(2) 各分野の取組	
3 政策の企画調整	
(1) 基本的な考え方	
(2) 継続的・計画的に対応する政策の企画調整に関する事務	
①「2025年大阪・関西万博」への対応	
②～⑤省略	
⑥ 特区事業の展開	
⑦～⑫省略	
(3) 新たな広域課題への対応	
4 分権型社会の実現	
(1) 基本的な考え方	
(2) 国土の双眼構造の実現に向けた取組	
①～③省略	
④「関西創生戦略」の推進	
(3) 地方分権改革の推進	
第5 広域計画の推進	
1 基本方針	
2 様々な主体との連携	
(1) 産学官連携	
(2) 市町村との連携	
(3) 連携団体との連携	
(4) 国との連携	
3 住民等との協働	
(1) 住民等への情報発信	
(2) 住民意見の反映	
4 広域計画の円滑な推進	
(1) 行政評価	
(2) 広報・広聴活動の充実	
(3) 分野別計画の推進	
(4) 業務改善の推進	

第4 第6期広域計画の取組方針		
1 基本方針		
1 広域事務		
(1) 基本的な考え方		
(2) 各分野の取組		
2 政策の企画調整に関する事務		
(1) 基本的な考え方		
(2) 継続的・計画的に対応する政策の企画調整に関する事務		
④「2025年大阪・関西万博」への対応		削除
①～④省略		
⑤ 特区の推進		名称変更
⑥～⑪省略		
⑫ 広域連携による行財政改革の推進		新規事務(R7～)
(3) 新たな広域課題への対応		
3 分権型社会の実現に向けた取組		
(1) 基本的な考え方		
(2) 国土の双眼構造の実現		
①～③省略		
④「関西創生戦略」の推進		項目移設
(3) 地方分権改革の推進		
第5 広域計画の推進		
1 基本方針		
1 様々な主体との連携		
(1) 産学官連携		
(2) 市町村との連携		
(3) 連携団体との連携		
(4) 国との連携		
2 住民等との協働		
(1) 住民等への情報発信		
(2) 住民意見の反映		
3 広域計画の円滑な推進		
(1)「関西創生戦略」の推進		項目移設
② 行政評価		
③ 広報・広聴活動の充実		
④ 分野別計画の推進		
⑤ 業務改善の推進		

令和7年度 第1回 広域計画等推進委員会の開催結果について

令和7年7月5日

本部事務局計画課

令和7年度第1回広域計画等推進委員会(座長:新川達郎 同志社大学名誉教授)を開催し、第6期広域計画の骨子案、令和6年度施策運営目標及び関西創生戦略 KPI 等の結果について、各委員から意見を聴取しました。

- 1 開催日時 令和7年5月22日(木)10時00分～12時05分 ※オンライン併用
- 2 出席委員 別紙のとおり
- 3 委員からの主な意見等

(1) 第6期広域計画の骨子(案)等について

- ・ 「将来像実現のための5つの力」という形で整理したのは分かりやすいが、それぞれが並列ではないと感じた。防災、産業、文化、環境保全も、広域のネットワークで強化することになるので、「広域自治力」を高めることで各分野を強化するといった構造ではないか。5つの力をどのように底上げするかなどの整理やストーリーが重要である。
- ・ 「基本的な考え方」の3つの項目について、1番目に「国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西」が位置づけられているが、これは、2番目の「誰もが豊かさを実感できる、安全・安心で持続可能な関西」と3番目の「個性や強み、歴史や文化を活かして、新たな価値を創造・発信し、世界の中で輝く関西」が達成した後に実現されるものであることから、1番目ではなく3番目に位置づけた方が自然だと思う。
- ・ 今後、最も強化していかなければならないことを、計画の最上位に位置づけて、そこからストーリーを作るのもよい。
- ・ 計画の構成をもっとシンプルにして考え方を明確にしないと、読み手に伝わりにくい。
- ・ 言葉の表現について、読み手が理解しやすいように再考すべき。例えば、「基本的な考え方」は「目標」、「将来像」は「将来像(部門別)」、「取組方針」は「施策」などに言い換えた方が分かりやすい。
- ・ 第5期計画と代わり映えのしない印象がある。それを払拭するために、例えば「5つの力を合わせて新関西を創造する」など、計画のキャッチフレーズがあればよいのではないかと。また、第6期計画のシンボリックな事業や目玉的な事業などを記載してはどうか。
- ・ 地方の豊かさを実感する軸として、生涯収支など様々な要素をデータにし、「VS 東

京」という形で見える化することが、豊かさを具体的に考える上で重要なファクトとなる。データに基づいた豊かさの議論を期待する。

- ・ 地方の人口減少や人手不足に対応するためには、デジタルの活用や DX の推進が重要である。
- ・ 人口減少による人手不足は民間だけでなく自治体においても深刻である。リクルートとして大学に来るのではなく、テーマを設定して、自治体や地域のこと、そして業務内容や、やりがいなどを自治体職員から話してもらうことが、学生には効果的である。
- ・ 関西広域連合は、域内に都市部の大学があるので、ネットワークを活用して、地方部の自治体との間を仲介することで、自治体が困っている課題について支援できるのではないかな。
- ・ 観光の分野では MICE の戦略的な誘致が重要である。メガイベントだけでなく、テーマを絞った高付加価値のツアー造成や、テーマに基づくイベントの誘致が有効である。特に企業の CSR 型の MICE を誘致し、いわゆる環境に配慮した形での観光が行われることで、地元でもチャレンジしようというきっかけになる。
- ・ 不確実ではあるものの、米国の産業構造は今後変わっていく。日本や関西は、今までの延長線上で産業を考えることは難しい。製造業を中心に、国内回帰か、米国への移転が進むのか、企業はどのように対応するのか。今後、産業は変わる前提で取り組む必要がある。
- ・ 南海トラフ地震が発生すると、700 を超える基礎自治体が被災するとされている。関西広域連合の構成府県市だけではなく、構成府県内の基礎自治体の「防災力」をどのように高めるかが重要である。
- ・ 「うめきたサイト」は、「5つの力」全てを備えた素晴らしいまちづくりだと考えている。ここを核にして、まちづくりを広げていくべき。
- ・ 中国、四国、九州地方を含む西日本と関西が、広域インフラや広域交通、またソフト面でもつながっていくことが大切。関西と西日本をどうつなげていくかという視点も重要である。

(2) 令和6年度施策運営目標及び関西創生戦略 KPI 等の結果について

- ・ ほとんどの目標が達成されているが、関西が豊かになっている実感がない。目標設定に当たっては、容易に達成できる目標ではなく、達成すべき妥当な水準の目標を設定することが重要である。
- ・ 新幹線路線は、東京は北陸、東北、上越、東海道が開通している一方で、関西は東海道・山陽新幹線が一本通過しているだけである。高速道路整備についても、東京圏では環状線が大部分完成しているのに、大阪では不十分な整備水準である。この点を踏まえた KPI の設定（整備率など）が必要である。

(別紙)

令和7年度 第1回広域計画等推進委員会 出席委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏名	主な役職等
渥美 由喜	内閣府地域働き方改革支援チーム 委員
上村 多恵子	京南倉庫(株) 代表取締役社長
梅原 利之	(公社)香川県観光協会 顧問
浦田 真由	名古屋大学大学院情報学研究科 准教授
大浦 由美	和歌山大学観光学部 教授
加藤 恵正	兵庫県立大学減災復興政策研究科 特任教授
河田 恵昭	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長
木村 陽子	奈良県立大学 理事
坂上 英彦	嵯峨美術大学 名誉教授
新川 達郎	同志社大学 名誉教授
西村 教子	公立鳥取環境大学経営学部 教授 ※書面意見提出
藤井 聡	京都大学大学院工学研究科 教授 ※書面意見提出